



わたしが変わる。
未来が変わる。

2014年12月19日

報道関係者各位

ガールスカウト日本連盟×ガールガイドミャンマー連盟 少女たちの国際キャンプ ネピドーで実施

公益社団法人ガールスカウト日本連盟(会長: 浅野万里子 東京都渋谷区)所属、全国6都府県の高中生ガールスカウト18人が12月27日～1月1日にミャンマーを訪問し、ミャンマーのガールガイド45人とともにネピドーで国際キャンプを実施します。

日本のガールスカウトとミャンマーの少女の交流のきっかけ

ミャンマーでのガールガイド運動は1916年に開始され、少女時代のアウンサンスーチー氏もガールガイドとして活動していましたが、1962年の社会主義政権樹立により、青少年育成は民主主義的発想であるとして禁止されました。しかし2011年以降、ミャンマーの民主化進展とともに青少年育成の方針がふたたびとられるようになり、ガールガイド運動の復活が待たれていました。

一方、ガールスカウト大阪府連盟は2007年からミャンマーの少女を支援するピースプロジェクトを開始しており、毎年高校生・大学生のガールスカウトが同国を訪れ、ミャンマーの少女の教育環境向上のための活動や歯ブラシの使い方をはじめとする衛生指導を実施し、児童養護施設や女子訓練センターの少女と交流を続けてきました。

こうした背景のもと、ミャンマーの青少年育成政策とガールスカウト大阪府連盟による国際交流活動の実績が実を結び、本年ミャンマーのガールガイド運動が正式に世界組織に復帰したことを契機に、日本全国のガールスカウトにミャンマーとの交流を呼びかけるプロジェクトが発足し、今回の国際キャンプの実施に至りました。

注)世界にはガールガイドと呼ぶ国(イギリスやオーストラリアなど)と、ガールスカウトと呼ぶ国(日本やアメリカなど)がありますが、ガールガイドとガールスカウトは同義です。

昨今、日本とミャンマーの経済関係は非常に緊密になってきており、毎日のようにさまざまな報道がなされていますが、民間の国際交流活動でも少しずつ開花してきています。今回の国際キャンプでの日本とミャンマーの少女たちの様子を、貴社に取材していただけましたら幸いです。なお、取材の際は下記問い合わせ先までご一報いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

少女たちの国際キャンプ Myanmar Friendship Project

日時: 2014年12月28日(日)～12月31日(水)

場所: ミャンマー ネピドー市内 ゴールドキャンプ場

Gold Camp Zabuthiri Township, Nay Pyi Taw

参加人数: 日本よりガールスカウト18人、ミャンマーよりガールガイド45人

実施内容: テント設営、キャンプクラフト製作、村を訪問しての歯磨き手洗い指導、
野外炊飯、救急法、文化交流、ローピング、キャンプファイアー 他

本件に関するお問い合わせ

公益社団法人ガールスカウト日本連盟 担当 久富、宮岡、片岡

TEL: 03-3460-0701 FAX: 03-3460-8383 Email: gsj_pr@girlscout.or.jp

〒151-0066 東京都渋谷区西原1-40-3

www.girlscout.or.jp